

既存のOSINTツールの比較評価

Comparative evaluation of existing OSINT tools

坂田真悠・大久保研究室・情報セキュリティ大学院大学

【概要】

近年、企業の情報システムへの依存度が増す中、社内機密情報の漏洩リスクは深刻な問題となっている。実際に、「不注意による情報漏洩」が重大な脅威として挙げられ、情報セキュリティ対策が重要視されている。本研究では、企業内で意図せず公開された社内機密情報の検出に最適なOSINTツールを選定し、さらに調査・比較・評価を行うことで、社内機密情報漏洩のリスクを早期に発見するための最適なツールセットを提案することを目標としている。また、本研究で扱う社内機密情報は、企業資産や社員情報、非公開施設などを対象とし、顧客情報は除外としている。意図せず公開された社内機密情報を検出するのに最適なOSINTツールを把握することで、低コストで効率的なセキュリティ対策が可能と考えられる。最終的にはOSINTツールの選定とその評価を通じて、企業の情報セキュリティ向上に貢献することを目的としている。

【活動成果】

1年間で修士論文を書き終える必要があるため、講義との両立が大変であった。そして、研究の目的をしていた、知りたい情報に最適なOSINTツールを評価できた。しかし、少し研究しきれなかった部分があったり、研究を進めるうちに追加で調査したい内容が出てきたりしたため、機会があれば追加で調査を行っていききたい。